

令和4年度 2月号

桜丘だより



令和5年 2月 15日 西脇市立桜丘小学校

〒679-0322 西脇市黒田庄町石原 1470

TEL 28-2203 FAX 28-2992

sakurasyo-vp@city.nishiwaki.ed.jp

「人権感覚」って何ですか

同和・人権教育担当

「人権感覚」

よく聞く言葉ですが、意識して生活する機会多くないかもしれません。「人権が守られている状態をよし」とし、「人権が守られていない状態を問題」ととらえること。この感覚を「人権感覚」と言い、身近で毎日ふれあっているものです。

「人権感覚」って何ですか

それはケガをして苦しんでいる人があれば
そのまま素通りしないで「大丈夫ですか」と
助け励ます心のこと

それは悲しみにうち沈んでいる人があれば
見て見ぬふりをしないで「一緒に考えましょう」と
共に語らう心のこと

ししゅう ひかり かぜ くわはら りつ
《詩集「光は風のなかに」(桑原 律)》

教育には、「これをすれば必ずできるようになる」というような特効薬はありません。子どもたちは同じことを何度も繰り返していきませんが、少しずつ感じ方が変わったり、考え方が変わったりします。そして成長していきます。励ます心、共に語らう心をもった子どもたちに育ってほしいと願っています。

学校では、指導の仕方をいろいろと工夫していきながら授業や学校行事などを通して、指導を続けたいと思います。ご家庭でもご協力よろしくお願ひします。

＜2月3月の予定＞ (※毎週金曜日は職員定時退勤日です。)

日	月	火	水	木	金	土
2/12	13	14	15	16	17	18
		新入生保護者説明会	読み聞かせ	After study	参観日	
19	20	21	22	23	24	25
	児童集会	スクールカウンセラー		天皇誕生日		
26	27	28	3/1	2	3	4
	全校朝会		一斉下校(14:20)	After study 第2回PTA地区委員会	サンキュー集会 一斉下校(14:50)	
5	6	7	8	9	10	11
	口座引落 感謝の集い		委員会活動 読み聞かせ	地区別児童集会 After study		
12	13	14	15	16	17	18
	児童集会			代表委員会	卒業式予行	
19	20	21	22	23	24	25
	大掃除 給食最終日 一斉下校(14:20)	春分の日	卒業式準備 (4・5年弁当) (1~3年:11:30下校)	卒業証書授与式 (4・5年のみ登校) 下校(11:40)	修了式 一斉下校(10:30)	
26	27	28	29	30	31	4/1
春季休業						



地震避難訓練 1.17 追悼集会

防災教育担当

地震はいつ、どんなときに起こるかわからない。今回は、休み時間に地震が発生したことを想定し、避難訓練を行いました。これは、毎年の訓練が身につく、児童が主体的に避難の方法を考え、行動に移すことができることをねらいとしています。「地震発生」の訓練放送が流れると、運動場で遊んでいた児童は運動場の中心に急いで集まりました。それぞれが、自ら判断して避難の行動をとることができていると感じました。

避難訓練の後には、阪神淡路大震災で被災された方々への黙とうをしました。その日の給食には、「防災メニュー給食」と題し、豚汁、セルフおにぎり、みかんが出ました。災害が起これば手を洗う水が確保できるとは限りません。袋に包むことで、食器を使わずに、衛生的に食することができる方法を児童たちは体験しました。

最近では、「南海トラフ地震」のニュースもよく見かけます。地震だけでなく、様々な天候による災害に備え、自ら考え避難できるように今後も各機関と連携しつつ災害への意識を高める学習を行っていきます。



高校生とプログラミング学習

「あれ、どこ行くねん！」「なんで右に回らへんねやろ？」

西脇工業高校の生徒にお世話になって、6年生がプログラミングの授業を受けました。車を指示通りに動かすためのプログラムを、スクラッチというプログラミング言語を使って考えています。

一度ではうまく動きませんが、どこに不具合があるのかを論理的に考えてプログラムを修正していきます。プログラミング的思考は、これからの社会を生きていく中で、普遍的に役立つ力だと考えられています。



ようこそ！ 日本の伝統芸能へ

1月23日、桜丘小学校の体育館が能舞台へと変身しました。これは子どもたちに優れた舞台芸術を鑑賞する機会を設けることにより、子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図ること等を目的として、夙川能舞台 瓦照苑^{がしやうえん}をお招きし芸術鑑賞会を実施しました。

子どもたちにとってはあまりなじみのない能・狂言だったかもしれませんが、出演者の方が能とは？ 狂言とは？ 話に出てくる人物の正体は？ など、紙芝居やユーモアを交えて説明してくださいました。また、出演者の方が、子どもたちが考えたポーズを舞台の中で取り入れてくださる場面もありました。そのおかげで子どもたちは能、狂言の世界にすっかり魅了され、90分の公演が終わる頃には「めちゃくちゃ楽しかった」「また来てほしい」など口々に話をするほどでした。

伝統芸能にふれて、伝統芸能を身近に感じた1日。これを機に、世界で活躍する桜丘小出身の狂言師が誕生するかも…？

